



上長湫保育園だより

令和6年1月

TEL. 0428-23-1569

HP. <https://www.kaminagabuchi.org/>

新年おめでとうございます。皆様には日頃より保育園の運営にご理解とご協力をいただきありがとうございます。年末年始はどのように過ごされたでしょうか。制約がある中で生活が続きますが、その中でも子どもたちは好きな事、楽しい事を見つけて夢中で遊んだり、新しいことにチャレンジしたりと、日々成長し変化していきます。

1月・2月でひよこ〜きりんぐみの懇談・進級説明会があります。園での様子や進級への事、保護者同士の交流の場となりますので、ぜひご参加ください。

今年度もあと3ヶ月となりました。感染症対策を講じながら、子どもたちひとりひとりの思いを大切に、楽しい園生活が送れるように職員一同で取り組んで参りますので、よろしくお願いいたします。

登園時・降園時に園庭で遊ぶのはご遠慮ください。特に山へ乳児が一人で登ること、幼児がリュックや水筒を身につけたまま登ることは事故につながります。保護者の皆様のご協力をお願いいたします。

早寝早起き朝ごはん

一年の始まりに毎日の生活リズムを再確認してみませんか。食事・睡眠・活動(遊び)は、丈夫な体をつくれます。また、たくさん体を動かすことで脳も刺激され、様々な発達を促す手助けとなります。

お知らせとお願い

※着替えの衣類や防寒用の上着など、持ち物には名前を記入しましょう。文字が薄くなっていないか確認もお願いします。

食農だより

令和5年度 1月号
 社会福祉法人 上長湫保育園
 文責: 園長 田中伸佳
[WWW.kaminagabuchi.org/](http://www.kaminagabuchi.org/)

ウインターフェスティバルの閉会式で告知した「親子収穫体験」を、12月23日(土曜日)の午前中に開催いたしました。今回の「親子収穫体験」参加者は、本園の職員を含め総勢54名の参加がありました。



天候の方も冬晴で、気温が低い中でも暖かい日差しに包まれ、大変気持ちの良い「親子収穫体験」になりました。

収穫した野菜は、「聖護院カブ=京野菜の仲間、京都の漬物千枚漬けのカブです」・「大蔵ダイコン=ダイコンの上部より下部が太いため、非常に抜きにくかったです」。このほかにも「水菜」もお持ち帰りしてもらいました。

今回の「親子収穫体験」は親子での参加はもちろんのこと、祖父母の方々の参加



や卒園生等の参加もあり、活気があり大変賑やかなイベントになりました。

参加された方々は、大きなレジ袋に大蔵ダイコンや聖護院カブを一杯詰めてお帰りになりました。

令和6年度もこの「親子収穫体験」のイベントを開催いたしますので、お時間のご都合が付きましたら、ご参加ください！

Ⓣ年の9月中旬に苗を移植した「のらぼう菜=天明の大飢饉ならびに天保の大飢饉の際、



人々を飢饉から救ったと伝わっている薬物の野菜です」の苗が順調に育っています！

このまま順調に育っていけば2月の中旬から3月初旬において、園児たちの「のらぼう菜」の収穫体験ができそうです。

ご家庭にも、お子さんが収穫した「のらぼう菜」をお届けできるよう努力しております。

